

11 住み続けられる まちづくりを



目標 11：皆が住みやすい街を

日本の街の良さ・まちづくりの工夫を知ろう！



自分の街で
調べよう！



地震対策

2016年、震度1以上を観測した地震が**6587**回起きている。地震大国と言われている日本には、災害対策は欠かせない。東日本大震災を受けて、災害対策基本法の大幅な見直しや、各都道府県や建物ごとに対策が行われている。海外のメディアには、日本の耐震技術に感心する記事もある。(参考：Livedoor news)

しかし、対策はまだ完璧ではない。例えば、震度6強～7の地震でも倒れない・壊れないことを示す「耐震化率」が9割を超えるのは**神奈川県のみ**。(参考：日本経済新聞、2016年3月)

ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインとは、障害の有無や年齢、性別、人種などにかかわらず、**多くの人がいやすいように**商品や環境をデザインする考え方のこと。(参考：りたりこ発達ナビ)

街中にはこのようなデザインがいたるところに隠れている。例えば、青になると音が流れる「**音声付き信号機**」、階段の代わりにスロープを使う「**ノンステップバス**」、複数の言語や絵を使って書かれた**案内標識**、低い位置についているエレベーターの**押しボタン**などがある。



(参考：Panasonic)
←車椅子やベビーカーなどでも通りやすい、ゆとりのある**改札口**
(画像：つくばエクスプレス)

便利な公共交通機関

海外の人から見ると日本の電車はかなり充実しているそう。

- ・ゴミがなく清潔
- ・冷暖房が付いている
- ・時間通りに走る
- ・女性専用車両がある
- ・デジタル画面でニュースや宣伝が流れる
- ・揺れが少なく、静かに走る
- ・特急や各駅など種類が豊富
- ・ホームに乗車位置がある



これらが当たり前ではない国もある。

また、日本の電車が使いやすいのは、人々が列になって電車を待つことや、降りる人を優先するなど、**利用者のマナー**も関係している。

(参考：マイナビニュース、ハフィントンポスト)

ゴミの分別

1990年代、日本ではダイオキシン問題が注目され、ゴミ捨ての規制が厳しくなった。そのため、海外よりもゴミの分別・回収方法を厳しく徹底している。海外では、ゴミの回収が2週間に1回という地域もある。

(参考：MADAME RIRI、SEKAI STORY.)

しかし、きちんと分別されたゴミが、リサイクルに出されるのではなく、まとめて焼却されることもある。分別するのであればその目的を明らかにし、分別が活かされるシステムを作り直す必要がある。

(参考：mag2news)



何ができる？—アクション例—

まちづくりの工夫が実際にはどのように利用されているのか、自分の街で調べてみよう！

- 知** る：自分の街での工夫を調べる、他の国ではどんな工夫があるのか調べる など
- 行** 動する：マナーを守って生活する、助けが必要な人に手を差し伸べる、地域ボランティア など
- 広** める：街頭やオンライン(SNS・ブログ・YouTubeなど)で現状を広める など

自分でアクションを起こそう！ —自分の目標と計画を立てて行動に移そう—

- すぐにできること：
- 頑張ればできそうなこと：
- 挑戦したいこと：

Let's
Take Action!